

アイデアピッチコンテストとは？

東海地区（愛知県・岐阜県・三重県）および大阪大学（EDGE-NEXT協力機関）のすべての学部生・院生・ポストドクターを対象として、自らが温めているアイデア、ビジネスプランなど、そのまま眠らせておくのではなく、実現させていくためのコンテストを開催いたします。

アイデアは、起業をはじめ、企業とタイアップした新事業、社会貢献。学生イベントを盛り上げるためのアイデアなど、おもしろアイデアならなんでもOK。

本コンテストで、優秀賞を獲得したアイデアについては、6ヶ月をめぐりにマーケティング・調査・検証等を行い、確度の高い事業計画に仕上げるための過程を学び・実践することを目的としています。

（1月より開始の「リーンローンチパッド名古屋」にご招待！さらに、起業のための実務サポートを提供）

優秀5チームには活動支援金10万円のほか、協賛した企業賞を多数あり。

（ただし、2018年3月末に成果報告をすることを条件といたします）

また、事業化へのステップアップのため、[デンマークKAOSPILOT](#)での課題解決研修への機会を提供します（2チームまで）。

文部科学省次世代アントレプレナー育成事業（EDGE-NEXT）

※本コンテストは、東海東京財団の協賛により開催いたします。

応募について

・応募期間

平成29年（2017年）11月6日（月）～12月15日（金）17時

・応募資格

東海地区および大阪大学の学部生・院生が代表者で構成されるチーム、個人であること。

・応募方法

申請書およびPowerPointのプレゼン資料を申請フォームより提出してください。

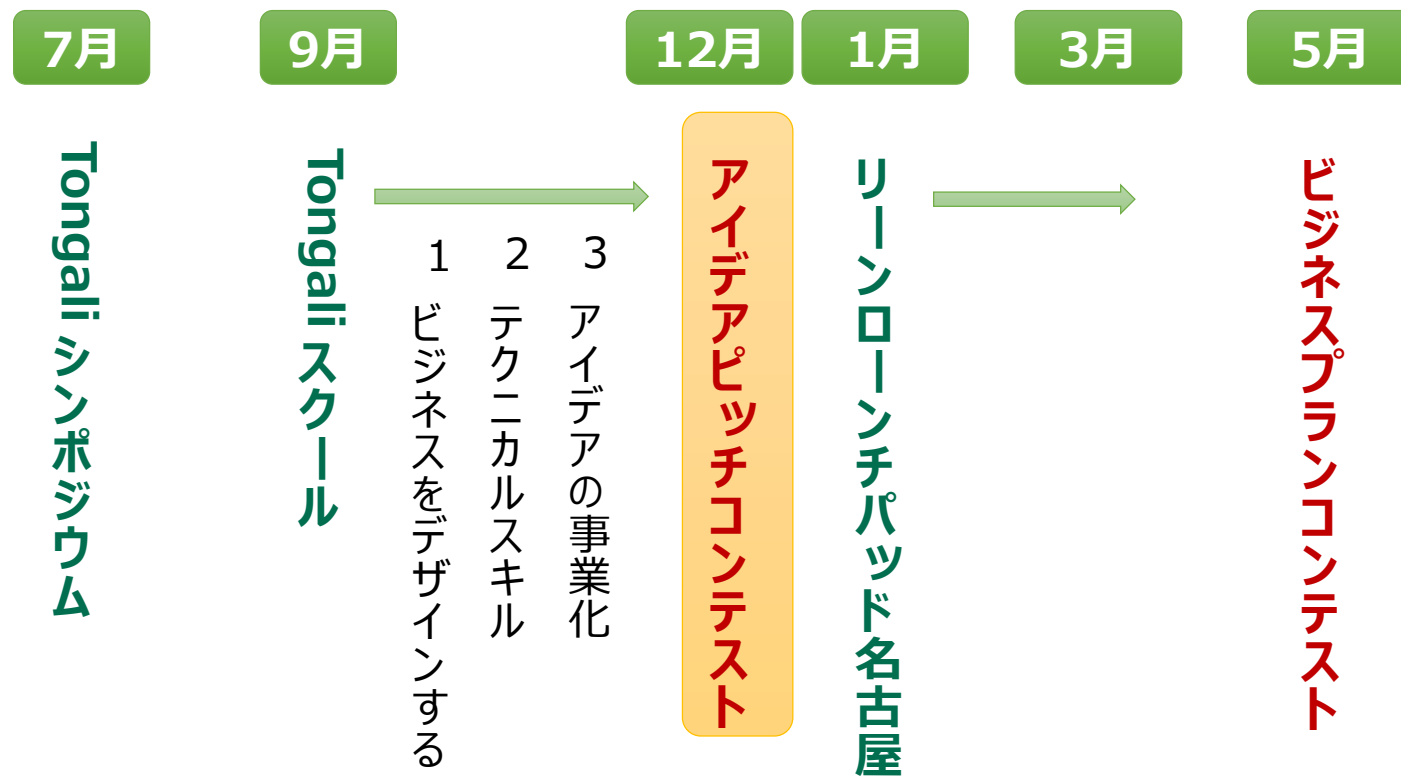
<http://tongali.aip.nagoya-u.ac.jp/pitch-contest/>

・留意点

- ・ 1代表者につき、1プランのみの応募です。ただし、ひとつのチームの代表者が別のチームメンバーになることは可能です。
- ・ 応募多数の場合は、書類審査を行うこともありますので、ご了承ください。
- ・ アイディアを実現したいのであれば、「より多くの人にアイデアを聞いてもらうこと」が、実現への近道だと思います。しかし、良いアイデアは、本コンテストで公開する以上、盗まれるということも可能性がゼロではありません。特許権などの知的所有権等が発生しそうな場合は、コンテストでプレゼンする前に出願をしておくことも一つです（必要があれば、ご相談ください）。
- ・ アイデアの著作権の侵害等については、応募者の責任になります。
- ・ 公序良俗の観点から適当でないと判断されたプランの評価は行いません。

コンテスト前後のスケジュール

7月のTongaliシンポジウムを皮切りに、9月からTongaliスクールが始まっています。スクールでは、アイデアを創出する方法や特許などのスキルを知ることにつながります。この「アイデアピッチコンテスト」では、自らのアイデアを発表して、その実現に向けてスタートを切るステップにしてほしいと思っています。



この後、リーンローンチパッド名古屋を1月～実施します。ここでは、アイデアを事業化していくための方法を体験しながら身に付けていきます。さらに、5月には、ビジネスプランコンテスト（奨励金最大50万円）も準備しています。ぜひ、この「アイデアピッチコンテスト」にチャレンジして、自分のアイデアを人に聴いてもらうこと、実現する等、次のステップにつなげてください！

コンテスト当日

開催日： 平成29年12月22日 16時～19時30分
(19時30分～20時30分懇親会)

場所： 名古屋大学 ナショナル イノベーション コンプレックス 1階 Idea Stoa

応募者は、各自3分間のアイデアに関するピッチ（プレゼンテーション）を行った後、審査員より5分間の質問を受けます。

審査は、申請書書類とプレゼンテーションを基に行います。審査項目は、以下の通り。

- ① わくわく感（アイデア全体が魅力的である）
- ② 新規性・独創性（アイデアの特徴、競争力がある）
- ③ 市場性（市場における明確なニーズ・需要が見込まれる）
- ④ 将来性（継続的な提供、将来に向けて発展していく）

上記に加え、プレゼンテーション自体および質疑に対する応答等についても審査対象となります。

審査

• 採択プロジェクト

Tongali賞（優秀賞） 活動支援金10万円 × 5チーム

『[デンマーク KAOSPILOT](#)での課題解決のための研修』挑戦権（2チーム派遣）

起業のための実務サポートを提供（上限20万円）

サポーター賞 大和証券（株）、中京テレビ放送（株）、名古屋市信用保証協会、三菱商事（株）

• 採択後

- 採択されたチームには、活動支援金の使用方法、今後のスケジュールなどについての説明会を行います。12月26日および27日に開催しますので、必ずご参加ください。
- 採択されたチームが所属する大学のURAや教員等がメンターとなり、月1回程度のチーム組成の助言を含むメンタリングを受けることが義務となります。
- 1月から開始するリーンローンチパッド名古屋（リーンローチパッドを用いてアイデアを実現していくセミナー）に招待します。次のステップへの準備やアイデアの具現化方法を習得するには最適なので、参加予定ください。

• 成果報告会

採択されたプロジェクトは、その後、実現性・市場性等を調査をして、2018年3月末に開催する成果発表会にて、報告していただきます。

審査員

審査委員長

名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部長

財満 鎮明

ラーニング・アントレプレナーズ・ラボ株式会社 代表取締役

飯野 将人 氏

日本ベンチャーキャピタル株式会社 執行役員

北岡 侑子 氏

ラーニング・アントレプレナーズ・ラボ株式会社 代表取締役

堤 孝志 氏

セレンディップコンサルティング株式会社 取締役

内藤 由治 氏

名古屋市信用保証協会 常務理事

中島 浩幸 氏

中京テレビ放送株式会社 経営企画局長

長谷川 治彦 氏

国立研究開発法人科学技術振興機構 プログラムオフィサー

浜田 恵美子 氏

株式会社ミライプロジェクト 代表取締役／株式会社エイチーム 取締役

牧野 隆広 氏

三菱商事株式会社 中部支社長代理

村橋 俊樹 氏

活動支援金について

受給した活動支援金は起業活動のための資金として有効に活用し、①成果報告書、②会計報告書を提出し、精算を行なう。

活動支援金の交付に先立って誓約書を提出いただきます。

用途の例としては、以下を想定していますが、その他に使用する場合、事務局まで相談ください。

1. 調査費
2. 広告宣伝費・広報経費
3. 人件費・消耗品費・通信運搬費・賃借料・旅費・光熱水道費・印刷製品費・資料購入費
4. 創業に必要な機械設備・工具器具類等の購入・修繕に要する経費
5. プログラムの使用権取得に要する経費
6. 事業促進に必要な原材料費
7. 外注加工費

その他

以下に該当した場合は、活動支援金の一部または全額の返還を求められます。

1. 代表者が学籍を失ったとき。
2. 所属する大学賞罰規定により懲戒処分を受けたとき。
3. 起業活動に関する報告義務（成果報告書、会計報告書）が履行されないとき。
4. 傷病その他の事由により起業活動を中断したとき。
5. 予定していた起業計画の実践が著しく遅れたとき。
6. その他、活動支援金の趣旨に著しく反すると判断したとき。